

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	第三者病院機能評価機構経費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度～22年度		担当課室	指導課		課長:井上誠一	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成22年5月24日厚生労働省発医政0524第5号「医療施設運営費等補助金、中毒情報基盤整備事業費補助金及び第三者病院機能評価支援事業費補助金の国庫補助について」 ・平成22年3月24日医政発第19号「第三者病院機能評価支援事業実施要綱の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病院機能評価を円滑に実施するためには、評価調査者の量的、質的充足が不可欠であり、安定的確保のための研修の実施を支援するもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の病院を対象とした機能評価を実施するために、全国から公募した病院の院長、看護部長、事務部長等の病院の各管理部門において一定以上の職場長経験を有する者を対象にした上で、病院機能評価に求められる専門的知識及び的確な診断能力を備えたサーベイヤーとして養成するため初期研修や実地研修を行うとともに、現任のサーベイヤーを対象に質・量の充足・向上のために研修を実施することを支援するもの。*補助率100%						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	34	34	25		
	執行額	34	34	25			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	病院が第三者評価を受けることによって、改善目標の明確化及び改善策の具体化など病院の改善に寄与し、病院が質の高い医療サービスを提供するための支援を行っていく		成果実績 申込病院数	955	881	824 (見込み)	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成21年度は評価調査者初任時研修会を1回、継続研修会を8回実施した結果、初任時研修は42名、継続研修は597人が受講した。		活動実績 (当初見込み) 研修参加者	初任者研修42名 継続研修313名	初任者研修42名 継続研修597名	未報告	-
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・評価調査者は、直近2年で減少傾向にあるが、活動実績によると、初任者研修の受講者が昨年度と同数おり、また継続研修の受講者が増加していることから、今後、評価調査者の定着が見込まれる。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	病院機能評価については、単年度で黒字に転化したため、日本医療機能評価機構の単独事業で行うこととし、平成23年度以降の補助金は廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省
22年度執行額25百万円

(病院機能評価の調査者(サーベイヤー)の安定的な量的・質的確保を支援するもの)
(病院機能評価のあり方に関する基礎的・制度的研究を支援するもの)

* 補助率100%

【補助】

A 財団法人
日本医療機能評価機構
25百万円

※全国の病院を対象とした機能
評価を実施するために、研修な
どを行うもの

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)日本医療機能評価機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	研修会講師及び研修生、並びに改定調整検討会WG委員	18			
諸謝金	研修会講師、並びに改定調整検討会WG委員	4			
雑役務費	振込手数料、研修用DVD作成料等	1			
賃借料	研修会会場料	1			
印刷製本費	研修会資料、データブック印刷費	1			
計		25	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本医療機能 評価機構	全国の病院を対象とした機能評価を実施するために、研修などを行う	25		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					